（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぱんはうすさくら春日部駅前教室			
○保護者評価実施期間	2025年　12月　10日	～	2026年　1月　11日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	36	（回答者数）	26
○従業者評価実施期間	2025年　12月　10日	～	2025年　12月　25日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	11	（回答者数）	11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　2月　20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者に普段の子どもの様子を写真を用いて 分かりやすく伝えている	1年ほど前に導入したHUGのアプリを通して 個別や子どもが自由に遊んでいる姿を 保護者の方がどこからでも見られるようにした	写真だけでなく、おたより等もHUGを利用して 確認が出来るように活用していきたい
2	面談の際に保護者の方と児発管のみでなく、 普段から療育を提供している職員も参加するようにしている	利用者がいる中での面談となるので全職員とはいかないが 参加の出来る職員が普段の様子を伝えるようにしている	面談までの期間に多くの職員が利用者と関わり 色々な方面からの意見を汲み取り、面談に繋げていきたい
3	就労移行支援事業所との関わり	18歳までしか利用が出来ない利用者の方の 将来の手助けとして外部講師を招いて 将来の選択の幅が広がるようにしている	実際に利用者家族と一緒に事業所へ訪問して より実感がわく事の出来るように計画している

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	教室外の事業所との交流が少ない点	教室外の事業所と関わる事になると 当教室だけではなく先方の都合も関わってくる あまり交流を受けてくれる事業所が少ない	まずは近くのこぱんはうすさくらの他教室との 関わりや交流を増やしていく事を目標として 利用者がより多くの人と接する事が出来るように していきたい
2	職員の外部研修の参加が難しい点	外部研修に参加をするほどの職員数に達していない現状 案内はあれど開催地が遠いなどの点を踏まえると 他職員にも影響が出てしまう また全職員が同じ内容の研修を受ける事が出来ない状態	ZOOMを活用しての研修に出来る限り参加をしていきたい 管理者や児発管が外部研修に参加をして 教室研修で研修内容を伝えていく事も検討中
3	学校数や送迎範囲が広い点	朝、帰りも含めて送迎範囲や学校数が多いため 職員がまとまって話す時間を確保する事が 難しいといった現状 以前よりドライバーも減った為、1台で行く場所が増えてしまった	空きが出た際には可能な限りすでに利用されている小学校の 利用者を増やし、児童発達支援の契約時に 小学校を見据えてのお話をしていく必要性を感じている